



高速しが

平成28年
6月号

発行: 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

梅雨期の交通事故防止

今年もまた梅雨の季節を迎えました。うっとうしい長雨の続く時期には、雨が原因の交通事故が増加する傾向にあります。雨の日の運転には、次の注意事項を頭にとどめ、いつも以上に慎重な運転に心がけて、交通事故防止に努めてください。

降雨時の注意事項

◆ タイヤの状態をチェック

タイヤが摩耗し溝が浅くなった状態での高速走行は、単純なスリップだけでなく、大雨の時や水たまりを通過する時などに、タイヤの溝が路面の水を排出しきれず水上を滑走する状態（ハイドロプレーニング現象）に陥り、ハンドル操作は勿論、ブレーキも効かない非常に危険な状況を引き起こす可能性が高くなってしまいます。



◆ 速度は控えめに保つ

雨で濡れた路面は、乾燥路面と比べ摩擦係数が低下します。特に高速走行時には制動距離が確実に長くなるほか、カーブ地点でのタイヤのグリップ力も低下することから雨天時には、晴天時よりも速度を控え、車間距離も長めにとりましょう。



◆ 急ハンドル、急ブレーキは厳禁

雨が降って路面が濡れると、タイヤと路面との摩擦力が低下し非常に滑りやすくなります。雨の日の急ハンドルや急ブレーキは事故に直結する危険な行為であることを理解しておきましょう。

◆ 小雨でもワイパーは作動させる

高速道路では、小雨であっても先行車両や追い越し車両による突如の大きな水しぶきで、一瞬視界を奪われる危険性があります。特に先行、追い越しの大型車両の水しぶきには注意し、ワイパーは必ず作動させましょう。

また、ウォッシュ液の量を運行前に確認しておきましょう。



高速道路を安全に利用するために

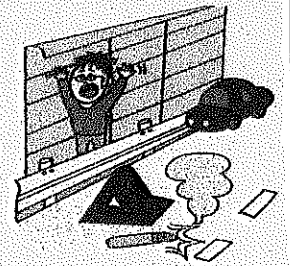
高速道路上で緊急停止した場合には、後続車両に対する安全措置をとった後、身の安全を最優先にしてガードレールの外側等、本線車道以外の安全な場所に待避して救助を要請するなど、2次被害に遭わないための安全対策をとる事が大切です。

本線車道での立ち話や車両周辺に立つことは絶対にやめましょう。

高速道路利用心得

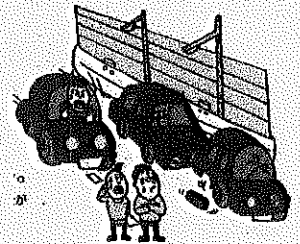
1 交通事故等で本線車道に緊急停止したときは

- ◎後続車に知らせる
 - ★ハザードランプを点灯させる
 - ★停止表示機材（三角表示板等）を出す
 - ★発煙筒を使用する
- ◎速やかにガードレールの外側に待避する
 - ★110番、非常電話で緊急事態を通報する
 - ★レッカー車の手配をする



2 2次被害を防止するために

- ◎後続車両への安全対策をとったら本線車道には絶対に立ち入らない
- ◎忘れ物等を車両へ取りに戻らない



重大事故に直結する交通違反

車間距離不保持

速度超過

携帯電話保持

シートベルト非着用

